

4面のつづき

市(都)民税の申告受付・簡易な所得税等の確定申告書作成支援申告受付

▽日時・受付場所 表のとおり ※例年、午前の受付は混雑しますので、午後の来場をお勧めします。

▽その他 土地・建物、株式などの譲渡所得、住宅借入金等特別税額控除の初年度申告、営業・農業などの事業所得(決算書の記入がない方)、消費税、贈与税の申告は、青梅税務署で申告してください。所得税の申告は、ご自宅からのe-Tax申告をお願いします。

各会場の申告・相談受付日程表

Table with 4 columns: 申告・相談受付, 日程, 場所, 受付時間. Rows include 市(都)民税申告の相談・受付 and 市職員による簡易な所得税等の確定申告書の作成支援.

※ 市役所の会場では、パソコン・スマートフォンで混雑状況や、順番待ち状況が分かる番号発券機を設置します。 ※ 記入済の申告書を提出する場合、申告書に市の収受印押印は行いません。その場合、申告書を封筒に入れ、会場に設置する提出箱へ投函してください。

申告に必要な書類など

① 令和6年中の収入・支出を証明するもの(源泉徴収票(原本)・収支明細書など) ② 社会保険料(国民健康保険税・介護保険料など)の支払額が分かる書類 ③ 控除証明書類(国民年金等や生命・地震などの各種保険会社の証明書)

④ マイナンバーカード(表裏)写し(マイナンバーカードをお持ちでない方は、通知カード等と運転免許証・パスポートなど本人確認ができる書類の写し) ⑤ 前年分の確定申告書等の控え ⑥ 申告者本人の口座番号・支店名が分かるもの

※ 医療費控除を受ける場合は、あらかじめ領収書を集計し、「医療費控除の明細書」を記入してからお持ちください。 ※ 申告内容により、別途必要となるものがあります。

問合せ

● 所得税の申告に関すること: 青梅税務署個人課税第1部門 (☎0428-22-3185、☎0428-22-3185、自動音声に従って、ご用件の番号を選択すると担当者がお答えします) ● 市(都)民税の申告に関すること: 課税課市民税係(直通558-1682)

あなたのための健診結果活用術

健診結果を活用し、生活習慣の改善に取り組みませんか。 ▽日時 2月19日(水) 午後1時30分~3時30分(予定)

▽場所 市役所 ▽内容 専門職による講話や相談、体組成測定など

▽対象 市内在住・在勤の方で、健診などを受診し、生活習慣の改善を希望する方

▽定員 20人(抽選) ▽持ち物 健康診断や人間ドックの結果、筆記用具

▽費用 無料 ▽申込み方法 1月31日(金)までに、電話か電子申請で申し込んでください。

▽申込み・問合せ 健康課健康づくり係(直通558-1183)



電子申請

高齢者げんき応援事業

▽受付時間 午前9時~午後5時(平日) ▽対象 市内在住の65歳以上の方

開戸センター (☎550-2755)

▽将棋教室 基礎から丁寧に指導します。 ▽日時: 毎月第1・第3・第5月曜日(祝日を除く) 午前10時~正午

● 講師: 高島晟さん ● 定員: 4人(申込み順) ● 費用: 1回500円

▽立体折り紙教室 折り紙を組み立てて立体的の物を作ります。 ▽日時: 2月3日からの毎月第1・第3月曜日(祝日を除く) 午前10時30分~正午

● 講師: 折り紙講師 ● 定員: 5人(申込み順) ● 費用: 1回500円(材料費込)

萩野センター (☎550-2722)

▽スマホ教室(入門編) 基本的なスマホの使い方、注意事項などを教えます。 ▽日時: 1月30日(木) 午後2時~3時30分

● 講師: あきる野病院システムエンジニア ● 定員: 5人(申込み順) ● 費用: 無料

▽大人のそろばん教室 頭と指を使って認知症を予防しましょう。 ▽日時: 毎月第2火曜日(祝日を除く) 午前10時30分~11時30分

● 講師: 中村宣子さん ● 定員: 5人(申込み順) ● 費用: 1回800円(テキスト代別)

▽俳句教室 初心者大歓迎。お気軽にご参加ください。 ▽日時: 毎月第1・第3木曜日(祝日を除く) 午前10時~正午

● 講師: 高木勝代さん ● 定員: 5人(申込み順) ● 費用: 1回千円

五口市センター (☎533-0330)

▽歌声広場ピアノ生演奏 歌曲、唱歌を皆さんと一緒に歌いましょう。 ▽日時: 毎月第1水曜日(祝日を除く) 午後1時30分~2時30分

● 講師: センター職員 ● 定員: 10人(申込み順) ▽ピアノで脳トレ 講師の伴奏に合わせて弾くことで脳が活性化されます。片手で弾くだけでも楽しめます。

● 日時: 毎月第1・第3水曜日(祝日を除く) ①午後2時~2時30分、②午後2時30分~3時、③午後3時~3時30分

● 講師: ピアノ講師 ● 定員: 3人(申込み順) ● 費用: 1回千円

令和6年度あきる野市登録手話通訳者認定試験

筆記、実技(読み取り、表現)、面接を予定しています。 ▽期日 3月15日(土)

▽場所 市役所 ▽対象 あきる野市登録手話通訳者として活動できる方で、次のいずれかに該当する方

① 市が実施する手話通訳者養成講座の全課程(初級・中級講座と上級・応用講座)を修了しているか修了見込みの方

② 国の手話通訳者養成専門機関か地方公共団体が実施する講習会で、①の手話通訳者養成講座と同等以上のものを修了しているか、修了見込みの方

③ 手話通訳士か手話通訳者全国統一試験合格者

▽費用 無料 ▽申込み方法 2月7日(金)(必着)までに、窓口で配布する登録手話通訳者認定試験申込書に必要事項を記入の上、送付するか窓口で申し込んでください。

▽定員 30人(申込み順) ※小・中学生の定員は、5人

▽費用 無料(テキスト代別途) ▽申込み方法 2月7日(金)(必着)までに、手話講座、手話経験の有無、住所、氏名、生年月日、電話番号を記入の上、はがき、ファックス、電話、窓口のいずれかで申し込んでください。

▽日時 3月22日からの土曜日 午前10時~正午(全55回、月4回程度)

▽場所 あきる野ルピア

※変更する場合があります。 ▽講師 緒方好子さん(東京都認定登録手話通訳者等)

▽対象 市内在住の小学校5年生以上

▽申込み・問合せ 障がい者支援課障がい者相談係 (☎197-10814、☎1157、☎558-1170)



森林レンジャーがゆく (139)

「菌根菌(きんこんきん)はすごい」

西多摩でも3年ほど前から「ナラ枯れ病」の被害が急速に広がっています。人が暮らしの中で利用しなくなったコナラなどが老齢木となり、カシノガキクイムシの集団アタックを受け、夏から葉を赤(茶色)くして枯れているのが目立ちます。ナラ枯れ病を止めることはなかなか難しい中で、菅生で山林のボランティアに関わる方々と地域のドングリを集めて「コナラ苗」を作り始め、3年がたちました。実生(みしょう)で3年と言えはまだまだ幼木の小さいものが普通ですが、一部の苗が大きく育っています。その大きさの違いは驚くほどです。

1か所の苗畑でも大きな苗木、小さな苗木と鮮明に分かれています。大きな苗木を掘り取ってみると、根に白いカビの様な物が見られました。小さな苗木にはこの白いカビ様の物が見られません。この白いカビが「菌根菌(きんこんきん)」です。

菌根菌は植物の根と共生関係を結び、植物に養分や水分を供給して成長を促し、植物から光合成生産物の一部の供給を受けている菌類です。有名なのがキノコを作る菌類で、マツタケなども菌根菌の一種です。やせた岩尾根にマツが育つのも、この菌が栄養を供給してくれるおかげです。シイタケ菌(腐生菌(ふせいきん))のように植物遺体を餌に育つ菌類とは違い、生きているマツと共生するマツタケは人工栽培ができません。ラン科もラン菌と呼ばれる菌根菌と共生しています。山野からランを掘り取ってきてもうまく育てられないのは、このラン菌がないと育たないランの仲間が多いからです。(生育の可否に関わらず、野生ランの盗掘はやめてください。)

このコナラの場合は、多くの植物と共生関係を持つことができる「アーバスキュラー菌類」との共生関係と思われます。菌根菌は土中で菌糸を広げて、樹木が細根だけでは吸収できない養分を根に供給しています。特にリンは鉄などのミネラルと結合すると不溶性となり、植物が利用できなくなります。しかし菌根菌は不溶性化したリンを分解して、植物の根に届けています。(菌根菌が根に供給するのはリンだけではなくあります。)

菌は生きています。菌根菌で成長が旺盛なコナラ苗の近くに生育が遅いコナラ苗を移植して半年ほどたつと、移植した小さな苗にも菌根菌との共生関係ができて、著しく成長がよくなりました。土壌の中で菌糸がどのように広がっているかは想像ですが、移植した小さな苗の根まで菌糸が広がれば、根に取り付いて新たな共生を始めてコナラの成長を助けているかと思っています。写真のように菌根菌との共生関係を結んだコナラと菌根菌を持たないコナラは同じ3年でこれだけ大きさに違いがあります。菌根菌はすごいとしか言えません。

近年は、いろいろな植物と共生関係を結ぶアーバスキュラー菌を培養して農業(農作物)への利用が進んでいるようです。(杉野)

